

# PPV イムノストリップキット

PPV ImmunoStrip® Test  
ウメ・ポックス病ウイルス検出用  
コード番号:AG3150505

## キット内容

キット内容	入り数
	AG3150525
ImmunoStrip® (免疫試験紙)	25 本
GEB4 試料抽出用バッグ	25 袋
取扱説明書	1 部

イムノストリップのみを別個に購入された場合は、試料抽出用バッグは入っていません。

## キットの使用目的

本イムノストリップキットは、葉組織中のウメ・ポックス病ウイルス (PPV) を迅速に検出するためのキットです。本キットは以下のウイルス株を検出することの妥当性が確認されています。PPV-C, PPV-M, PPV-D, PPV-EA, PPV-Rec, PPV-W, PPV-T, 及び PPV-CR. **アズ組織を試験する場合は、事前にアズマックス㈱にご相談ください。**

本キットは試験するのに特別な機器や要員を必要としません。結果はほんの数分で得られ、野外の現場でご使用になれます。本キットは GEB4 試料抽出バッファーをご使用にならなければなりません。他のキットの試料抽出液バッファーはご使用できません。

## 用意するもの

- ・ ハサミ、ナイフまたはかみそりの刃
- ・ GEB4 試料抽出バッファー用粉末 (ACC 00380) または
- ・ 試料抽出用 GEB4 緩衝液入りバッグ
- ・ 試料抽出用資材 (Agdia 社の試料抽出用バッグをお勧めします)
- ・ サンプルバッグ立て (バッグの液がこぼれないように真っ直ぐ立てるためのハガキ立てのような物)

## 保管方法

試験紙と緩衝液は必ず冷蔵保存 (4°C程度) して下さい。試験紙は冷蔵保存の場合でも常に乾燥剤入りの容器に入れ、必ずしっかりと栓をして保管して下さい。

検定を行なう際には、試験紙入りの容器と必要数の GEB4 試料抽出用バッグを 30 ~60 分前に冷蔵庫から取り出して室温に放置し、20°C以上に暖めてからご使用下さい。

## サンプルの調製

1

### サンプルの採取

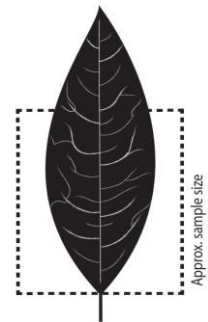
サンプルは病徴を現している植物の葉の葉柄に近い部分から約0.30g 採取します。右の図をご参考にしてください。

感染した木には PPV ウイルスが均一には分布していません。また、野外の気温が上昇していると濃度が低くなります。これらの要因によって、ウイルスの検出は制限を受けます。

春、あるいは初夏に葉冠全体をサンプリングし、病変組織を選んで試験すれば、このウイルスを検出する機会が増えます。

**注意：**検定前には必ずよく手を洗い、ハサミなどの消毒を行なって下さい。また、異なる株のサンプルを次々に切り取る時は、サンプルごとに刃物を拭き、10%ブリーチ液に漬けて消毒してください。

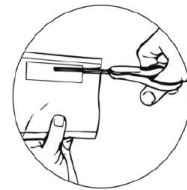
1



2

緩衝液をこぼさないように注意しながら、メッシュ内張りサンプル袋の上部（ラベルの上あたり）を点線に沿ってハサミで切り取って下さい。

2



3

採取したサンプルを、袋の内張りメッシュの間にピンセットで緩衝液に浸かるまで押し込んで下さい。

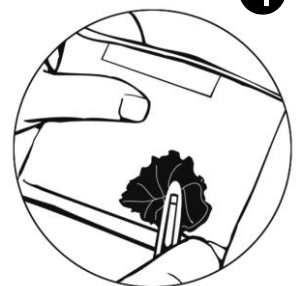
3



4

緩衝液がこぼれないように注意しながら、袋の外側からサンプルの小片をペンの尻やすり潰し棒などでこすり付けて磨碎します。抽出液が薄茶色または淡緑色に着色するまで汁液を抽出して下さい。

4

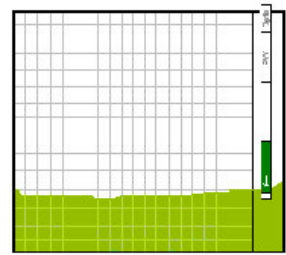


## 試験紙の使い方

⑤

サンプル抽出液の準備ができたなら、試験紙を容器から取り出します。この際、試験紙の上下(上は社名の agdia の記載がある白い部分、下は Sample の文字と矢印が書いてある緑色の部分)に注意し、必ず上部をつまみ、下部から図⑤の通りに、袋の右端のメッシュの外側に挿入し、その先端がサンプル袋内の抽出液に 5mm ほど浸漬した状態で 20 分間静置して下さい。陽性の場合には 5 分ほどで線が見え始めます。ウイルスのタイターが低い試料では線が出るのに 20 分を要します。抽出液が吸い上がるのを待ちます。サンプル袋は倒れないように、ホルダーなどに立てておきます。20 分以上、静置しないでください。

⑤



## 結果の判定

試験紙を抽出液に浸漬すると、しばらくして、陽性反応では赤色または紫色の線が 2 本、陰性反応では 1 本現れます(下図参照)。

2 本の線が現れた場合、上方の線は対照線(コントロール線)で、検定が正しく行われたことを示します。下方の線は陽性反応を表す線で、PPV が検出されたことを示します。

上の線(対照線)が 1 本のみ現れた場合は、サンプルが陰性であったことを示します。

対照線は検定試験が正常に進行したことを示すもので、もし、下の線(陽性線)のみ現れた場合や、線が 1 本も現れない場合は、その検定は何らかの原因で無効ということになります。

れるので、ここで試験紙を抽出液から抜き取り、試験を終了とします。



陽性反応



陰性反応



検定無効

## 安全性

イムノストリップと試料抽出用バッファは危害を及ぼしません。

## 問題解決法

**Q** 対照線が出ません。何が原因でしょうか？

**A** **試験紙の浸漬深度**

対照線が出ないほとんどの原因は、試験紙の先端部を 5mm 以上サンプル抽出液に浸漬することによるものです。

過度に浸漬すると、試験紙に含まれている成分がサンプル抽出液に放出されて、抽出液の正常な吸収が阻害されることがあります。

再試験してください。

**Q** 抽出液が試験紙に全くしみ込みません。または、しみ込むのが極めて遅いです。何が原因でしょうか？

**A1** **試料検体が多すぎる。**

その抽出液を GEB4 バッファで 10 倍希釈した液または、より少ない検体を抽出した液で再試験してください。

**A2** **その他**

使用前にキットが室温になっていましたか。有効期限が切れていませんか。有効期限は箱に記載されております。箱に記載された有効期限 (Use by: 月/年) を過ぎた物は、正しい検定結果が出ない場合がありますので、ご使用はおやめ下さい。

**Q** 緑色の線（または試料の色素による線）がでた。何が原因でしょうか？

**A1** **試料検体が多すぎる。**

その抽出液を GEB4 バッファで 10 倍希釈した液または、より少ない検体を抽出した液で再試験してください。

**A2** **その他**

まれには、組織の型により色素によって線が出ることがあります。緑色の線は陽性とする必要はありません。赤、オレンジ、紫色の果実は陽性のような線が出ることがあります。それらの試料を試験する場合は、事前にアヅマックス(株)にご相談ください。

**Q** 対照線または陽性線が薄い。何が原因でしょうか？

**A1** **有効期限が切れている。**

有効期限は箱に記載されておりますのでご確認ください。箱に記載された有効期限 (Use by: 月/年) を過ぎた物は、正しい検定結果が出ない場合がありますので、ご使用はおやめ下さい。

**A2** **試験紙が湿っている。**

試験紙が入った容器を長時間、開けっ放しにしていると、試験紙が湿って結果に悪影響を及ぼすことがあります。ご使用のたびに試験紙容器をしっかりと閉まっているかご確認ください。

**A3** ウイルスタイターが低い。

病原体のタイターが低いと陽性線が薄くなることがあります。

**関連製品**

PPV に関して、試験紙の結果の確定試験用に、以下の製品をお勧めします。

コード番号	製品名	特長
SRA31505	PPV ELISA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知られている全ての型を検出。</li> <li>・感度が高い。</li> <li>・米国の PPV 感染調査で使用された USDA 法。</li> <li>・試験紙キットと同じ抽出バッファーが使用できる。</li> <li>・ハイスループットな試験が可能。</li> </ul>
ACS31505/0008	アプ リファイ RP アク セラー 8 PPV	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分子レベルの検出</li> <li>・知られている全ての型を検出。</li> <li>・感度が高い。ELISA より感度がさらに 10 倍高い。</li> <li>・試験紙キットと同じ抽出バッファーが使用できる。</li> <li>・試験紙や ELISA の結果の確定試験に最適。</li> </ul>

これらについては、アヅマックス(株)にお問い合わせください。

**使用上の注意**

- ・本品を目や口に入れしないで下さい。また、誤飲を防ぐため、幼児の手の届かない場所で保存してください。
- ・本品の有効期限内に、当社の製造物流、保管作業等の不具合により製品に欠陥が生じた場合は、新しい商品とお取替えいたします。
- ・検定結果の判断と運用は、すべてお客様ご自身の責任で行なって下さい。本品の使用によるすべ



での直接的および間接的な結果としての経済的損失や財産などあらゆる損害に対し、一切補償するものではありません。

- ・本品を廃棄する際には、衛生面、環境面に配慮し、焼却処分等を行なって下さい。



製造元：アグディア



輸入元：エア・ブラウン株式会社



販売元：アツマックス株式会社

東京営業所：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 5F  
TEL：03-6661-1090 / FAX：03-6661-1091 / E-mail：sales@azmax.co.jp

m345-140220